

ARDECO NEWS 14号

▼湘英クリニック伊勢原医院

特集 外観が看板になる
ヨーロッパの博物館がモデル

アルデコ再発見！

超大型装飾のススメ 人目を引く存在感。大型装飾の魅力！

pickup



最新製品開発事例！ タイル調パネル

2020年6月5日発行

装飾建材

アルデコ

特集

オーナーの明確なイメージを具現化

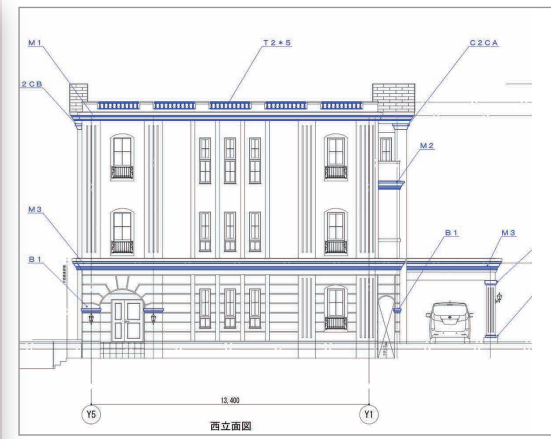
ヨーロッパの博物館がモデル"湘英クリニック伊勢原医院"

一見するとクリニックとは思えない美しい白亜の建物。このクリニックを設計・施工をされた谷津建設株式会社の設計および施工担当の皆様にお話を伺いました。



▲湘英クリニック伊勢原医院

アルデコ：モールディング、バラスター（大・小）、ペディメントモール、窓額縁、ドア装飾モール、柱頭・柱脚、キーストーン、門柱・塀モール



▲アルデコ装飾立面図（青色部分）

医療法人社団旺巳会

湘英クリニック伊勢原医院

所在地 〒259-1143
神奈川県伊勢原市下糟屋字丸山
2187-1

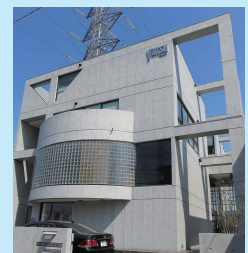
診療内容 人工透析内科, 泌尿器科, 内科
2020年4月オープン

谷津建設株式会社（設計・施工）

本社 〒252-0203
神奈川県相模原市中央区
東淵野辺 4-24-15

TEL：042-752-2038 <http://www.yatsu.co.jp/>
事業所 東京支店、横浜営業所、川崎営業所、
事業内容 建築物の企画・設計・施工、不動産
の売買および管理

▼谷津建設(株) 本社



オーナー様に寄り添う ヨーロッパの建物がモデル

今回、クリニックの外観デザインは、オーナー様の想いが強く、サインを最小限にして、建物がランドマークになるようにしたいと話されていました。

当初オーナー様からの明確なデザインコンセプトは無く、当社が最初にデザイン提案をしたものは、モダンなデザインでした。しかし、デザイン提案後は、オーナー様も徐々にご要望を出されるようになり、やがて明確になったようで、最終的にノーベル博物館をイメージされました。それは、石造りのシンメトリーな建物です。

オーナー様は、学生時代ヨーロッパに留学し、そこで出会った西洋の建築物が印象に残っていたようです。そして、西洋風の建物を建てたいとお考えになったようです。イメージが明確になると、オーナー様のこだわりも強くなり、私達はいかにそれを"具現化する"という作業になりました。

オーナー様の要望は、様式にのっとったデザインです。しかし、当社の実績ではモダンデザインが多く、オーナー様の希望するデザインをするには、建築様式から学び直さなければなりません。様式は取り入れ方を間違えると奇妙なデザインになりかねません。その中でアルデコは単なる材料売りではなく、設計段階でインターデコムの設計部門とやり取りができました。当社で作った設計図面(装飾部分)を送ると、確認修正等をして戻していただける。そういったやり取りのできる、体制を含め良かったです。

R形状もできる 自由度の高さが採用の決め手

アルデコとの出会いは、"バラスター"(手すり)でインターネット検索した結果です。そこでホームページを見つけ、問い合わせをしました。その後技術担当者が来られて、アルデコのことはもちろん、他製品との違いや型枠を使用した装飾製品との違いを、詳しく説明してくださいました。

当初は、型枠を使用した装飾を計画をしていましたが、アルデコ製品は既製品だけでなく、新たな形状もでき、R形状も可能なので採用しました。ただし、モールは人が誤って足をかけても安全なように、モールの上部はコンクリート庇にし、安全を図る工夫をしました。

もし、十分な工期があれば、型枠の装飾でも良かったと思います。しかし、すでに工事が遅れており、工期に余裕がありませんでした。

施工の速さが 工期の短縮につながる

工事の立場からアルデコを採用したのは、装飾で型枠を採用しては間に合わないと感じたことです。この建物は4面全てに装飾が施され、門柱など外構にも施されていて、装飾材の量が多いです。

型枠工事は、それができる技術者が必要です。当社では、型枠工事ができる者を確保できていました。しかし、施工時間の他に型枠を外した後の補修作業(ジャンカーの処理等)を考えると、増々工事に時間が掛かり、更に工期の遅れが懸念されました。

私は、以前アルデコの類似品を扱ったことがあります。その為、EPS材の扱い方を知っており、施工スピードから考えてアルデコ製品になりました。実際、アルデコの施工スピードは非常に速かったです。型枠を使用する装飾と施工スピードを比較するとアルデコでは2~3倍早くなります。1面で2~3倍が4面ですから、工期への影響は大きいです。(※アルデコの建物への取付工期は7日間でした)

オーナー様には事前にアルデコを使用する許可をいただいていたのですが、モールの基材がEPS材とは理解されてなかったようです。しかし、実際に手に取って頂いた時は、軽量なので驚いていました。さらに、アルデコの形が精巧でしたので問題はありませんでした。オーナー様は、建物の外観デザインに非常に力を入れておられましたので、素材よりフォルム(形)が重要でした。

建物そのものが「看板」になる

完成した建物はとても目を引くことができました。通りかかる人が見ていきますし、遠目からも目立ちます。私が市街からこの建物の方向を見た時、かなり遠くからでも見つけられたのでびっくりしました。

オーナー様は、施設の看板は小さくして、建物が看板代わりになるような人目に付くデザインにしたいと、建物の意匠にこだわっています。「建物がランドマーク」となりこれは成功していると思います。そして、そのこだわりは外観だけでなく内装にもおよび、素晴らしい空間になっています。

アルデコの施工については、全く問題はありません。ただ、一つ注文があるとすると、バラスターの取付について、もう少し対応していただけたらいいと思います。バラスターの支柱ボルト穴のピッチを正確に測ってマーキングするのが、数も多く大変でした。そこまで施工していただけるようになると、大変助かります。

アルデコ再発見！

人目を引く存在感。大型装飾の魅力！

超大型装飾のスズメ

大型な装飾品は軽量でオーダーメイドのアルデコの得意分野です。
装飾材を大胆に使うことで、人目を引く印象的な建物を創り出すことができます。
ここでは、大型の装飾材の作り方や施工について紹介します。



幅約 18m× 高さ約 9mの建物の前面と TOP の 4 面にアルデコが使用されています。▲上の写真の緑色に着色されている分がアルデコになります。建物自体はほぼ凹凸が無く、前面が広い台形の建物です。
左右対象になる装飾の中心部で茶色の部分は木目調塗装です。迫力ある装飾で目を引くデザインの建物になっています。

設計：池田 防人 様



大型の装飾材として最適なアルデコ

外装で大型の装飾材を計画した場合、従来は型枠を使用して作る GRC（ガラス繊維補強セメント）や FRP（ガラス強化繊維プラスチック）が主流でした。しかし、施工には専門技術が必要で、工期も掛かります。型枠で施工する手間からコストも高くなります。また、装飾材を既存の建物に取り付けする場合には補強工事が必要です。

アルデコは、それらに比べ軽量で加工性が良い為、施工や補修が容易であり、工期も短縮できます。型枠を使用しない為、型枠代のコスト削減も可能です。

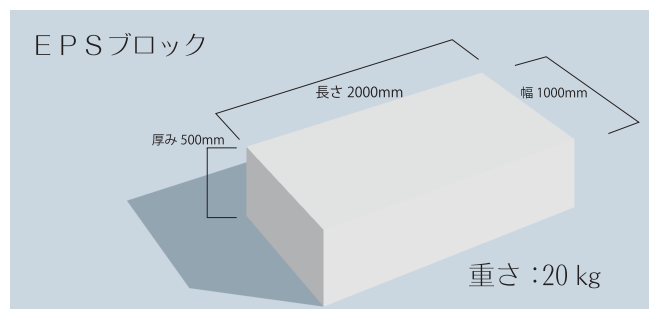
さらに、後付けも可能で既存の建物に取り付ける際は、大掛かりな補強工事など必要ありません。他部材との取り合いで調整が必要な場合も、アルデコに加工をすることで解消できます。軽量で加工性が良い特性を大型製品では、遺憾なく発揮します。

アルデコは、軽量でありオーダーメイドで作る装飾材です。建物を華やかに飾りながら、建物に荷重負担を掛けない製品です。アルデコで大胆に、華やかに、個性あふれる建物を創造しませんか？

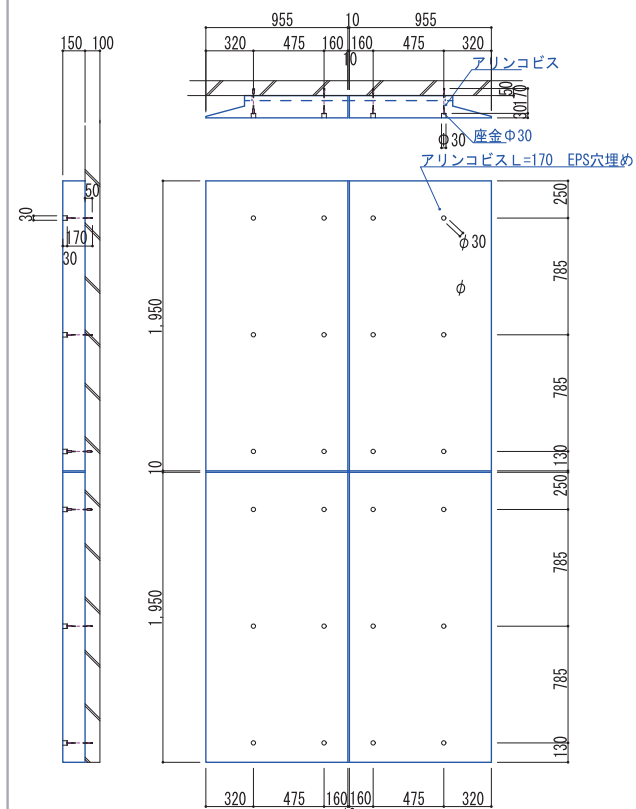
軽量と独自施工方法が地震、台風等自然災害に強い

大型の装飾材を計画する際懸念されることは、建物に対する荷重や安全性ではないでしょうか？“建物はその装飾物の重さに耐えることができるか”“落下などの危険性が無いか”等です。また、昨今の地震や台風のような大規模な自然災害に対して、“耐える性能を持っているか”と仰うことです。

建物に対する荷重については、アルデコの基材が軽量の「EPS/発泡ポリスチレン」を使用していることから、建物に負担を掛けません。EPSの1ブロックの重さは20kgです。例えば、H300×W300×D2000mmのモジュールで約4.5kgとなります。



▼前ページの建物のアルデコの施工で追加された「化粧木目パネル補強ビス配置図」

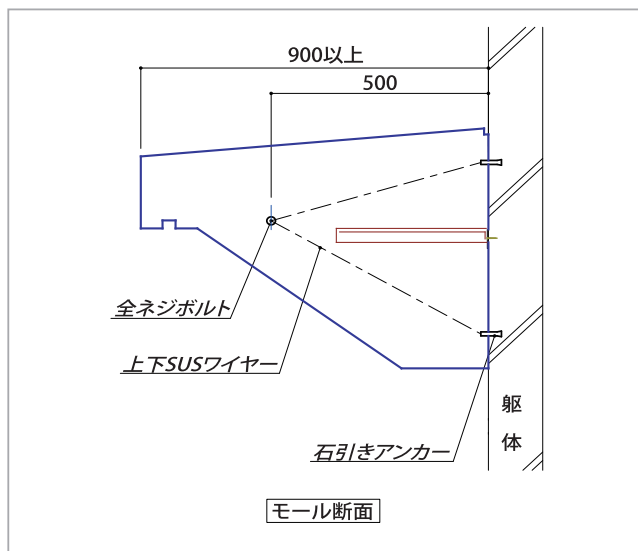


※外装に使用する装飾建材については建築基準法の規制は特に有りません。消防法の火災予防の見地から、防災防火対象物に対し、定められた規制はありますが、具体的な装飾建材の規制は有りません。当社では、アルデコの使用範囲として、外壁面に対して 1/10 を推奨しておりますが、都度個別にご判断いただいております。

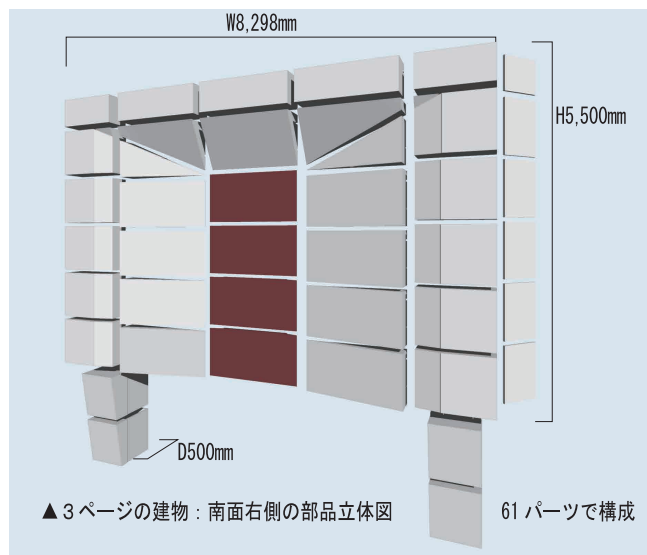
アルデコの施工は、通常「接着剤のダンゴ貼り接着+引掛け金物」によるダブルホールド工法です。大型の製品でもこれは変わりません。しかし、製品を取り付ける建物の外壁材や製品の形状を考慮して、ビス打ちを追加したり、モールに前倒れ防止を行ったりします。事前に追加が必要なが分かっている場合は、

◀左図のような「補強ビス配置図」等を作成します。取付現場で変更が生じた場合は、施工状況に合わせて柔軟かつスピーディーに対応します。また、後日自然災害等で不具合が発生した場合も、速やかに対応します。

▼石引き工法による大型モール部材の前倒れ防止図



組み合わせの妙 装飾パターンは無限になる



前ページ (3P) の建物はトップモールを合わせると全部で 175 パーツで構成されています。1つのパーツの最大サイズはEPS ブロック (w1,000×D500×L2000 mm) で作れる範囲です。それ以上になる場合は、さらに複数のパーツを組み合わせます。モールであれば、目地から目地までの最大距離は、2,000 mmです。形状が複雑になると、大きさではなく、形状を形づけるために複数の組み合わせが必要になります。(詳しくは ARDECO NWES13 号を参照してください)

装飾全体のパーツ数は、目地の位置、輸送や取付施工を考慮の上決定します。目地の位置やパーツ数は、生産性や施工の効率等を考慮し、指定がなければ当社で最良の方法をご提案させます。

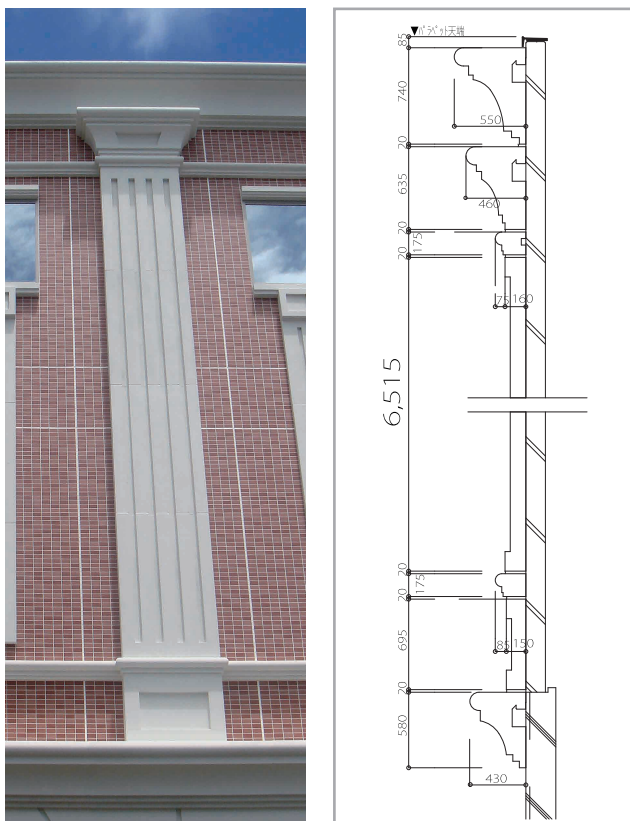
大型装飾は、見た目のインパクトがあり、迫力ある存在は他を圧倒し、印象に残る建物に変えます。アルデコは、パーツを組み合わせることで様々な装飾デザインを生み出せます。その組み合わせに制限はありません。大型装飾はアルデコの最も得意な分野です。

自然災害に負けない 大型装飾事例

その他の、大型装飾の事例を紹介いたします。納品から時間が経ち、地震・台風・突風等を経験していますが、不具合なく現存しています。

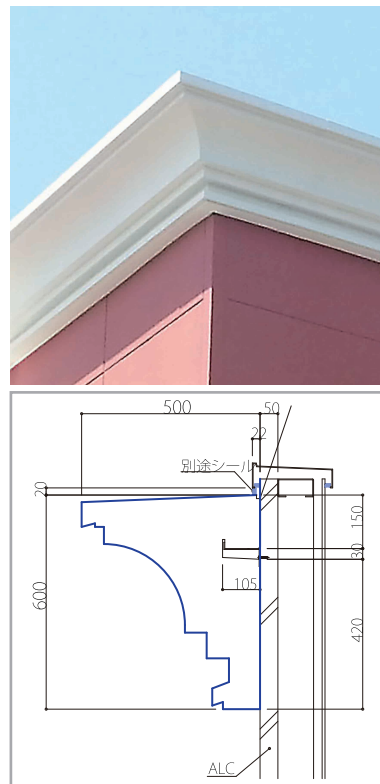
■ 装飾柱

イベントホールに採用された装飾柱およびモールです。柱は高さ 6515mmあり、モールの高さは 740mmです。(2007年5月納品)



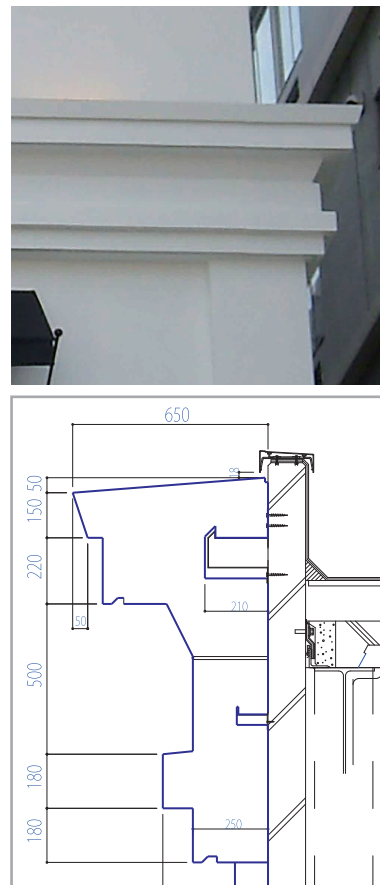
■ モールディング①

ショッピングモールに採用されたモールです。高さ 600mm× 奥行き 500mm。出幅があるモールです。(2012年12月納品)



■ モールディング②

結婚式場に採用されたモールです。高さ 1280mm× 奥行き 650mm。2つの形状を組み合わせたモールです。(2011年11月納品)



予算であきらめない インターデコムを巻き込め！

どんなに素敵なデザインでも実現できなければ、“絵に描いた餅”でしかありません。皆様のアイデアを実現するお手伝いをするのがインターデコムです。

社内に設計部門を擁し、建物に合わせた製品を作る技術で皆様のデザインを形にします。理想の建物、イメージ通りの建物創りの為にインターデコムをどんどん巻き込んでください。

例えば、「当初予定していた計画で見積りを取ったら高すぎて採用できそうもない。しかし、アルデコに変えたらコストが下がって採用できることになった。」と言うことは多々あります。

また、アルデコは形だけではなく。木目調や石目調の塗装を施すことによって、見た目を本物に近づけ、アルデコで代用できることがあります。

アルデコの規格デザイン (Easy Order)

※在庫品ではありません。

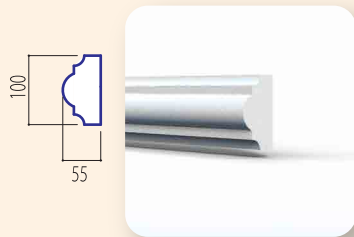
価格は長さ2mの設計価格です。(2020年6月1日現在)

アルデコの規格デザイン (Easy Order) は、通常のフルオーダーに比べ納期が早い(2週間程度)のが特長です。

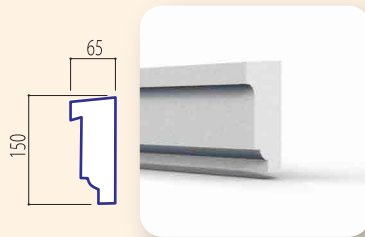
取付施工は、施工要領書を基に行います。また、加工性が良いので、取付現場で調整も可能です。

◆デザイン例

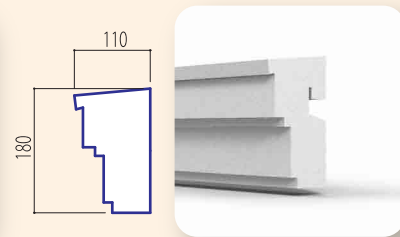
①EOA1005 16,300円
W55×H100×L2000mm



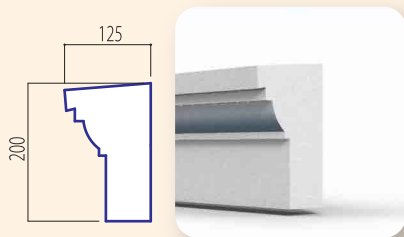
②EOA1506 19,900円
W65×H150×L2000mm



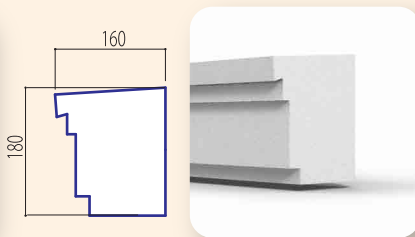
③EOA1811 22,700円
W110×H180×L2000mm



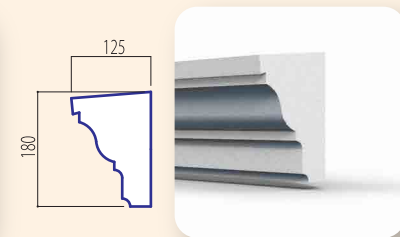
④EOA2012 24,800円
W125×H200×L2000mm



⑤EOA1816 26,600円
W160×H180×L2000mm



⑥EOA1812 23,900円
W125×H180×L2000mm



インターデコムの Service

- 有償/デザイン提案、3DCGパースの作成
アルデコの取付施工 他
 - 建物にあわせて、装飾部分のデザイン設計の提案や3DCGパースを制作いたします。
 - アルデコの取付施工を請け負います。

■無償/アルデコプレゼンルームの提供

- 3Dの画面を見ながら色や装飾材の検討ができます。



▲3DCGパース



▲アルデコプレゼンルーム

インターデコムでは、
建物の装飾についてのご相談を承ります。

☎0120-978-413



近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。

■お問合せ先 編集・発行

株式会社 インターデコム

〒105-0013 東京都港区浜松町1-25-13 浜松町NHビル 7F TEL 03-6452-8901/FAX 03-6452-8904

http://www.interdecom-co.com / E-mail ardeco-1@interdecom-co.com

「ARDECO NEWS 14号」2022年4月14日 第2版第1刷発行

※ 許可なく本誌の全部もしくは一部を引用または、複製、転写などにより使用することを禁じます。

©株式会社 インターデコム

iDecom®